

熊本地震の影響で土砂災害や洪水での二次災害が起こりやすくなっています

6月は
土砂災害防止月間

早めの避難を心がけましょう

熊本地震により、さまざまな地域で地盤の緩みや亀裂が生じています。そのため、雨が降った際に、普段よりも土砂災害や洪水での二次災害が起こりやすくなっています。災害はいつ起こるかわかりません。「危ない」と思ったら、早めの避難を心がけましょう。

前ぶれ現象に注意(こうなったら避難を)

がけ崩れ



- ・がけからの水が濁る
- ・小石が落ちてくる
- ・がけから音がある

土石流



- ・山鳴りがする
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・川が濁ったり、流木が流れる

地すべり



- ・地面にひび割れができる
- ・井戸や沢の水が濁る
- ・がけや斜面から水が吹き出す

要チェック 熊本県土砂災害情報マップ <http://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/website/sabo/>
【土砂災害危険箇所】と【土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域】が確認できます。

熊本地震後の本市の対応として

市の防災態勢を強化し、避難勧告などの発令基準を下げ、早めの避難を呼びかけます。
県の土砂災害危険度情報・降雨量・前兆現象などを元に、次の3段階に分けて避難情報を発令、お知らせします。

① 避難準備(要援護者)情報



- ・人的被害の発生する危険性が高まった状況です。
- ・避難するのに時間がかかる高齢者などの要援護者やその支援者は避難を始めます。
- ・通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めます。

② 避難勧告



- ・人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況です。
- ・すべての住民は指定された避難場所に避難を始めます。

③ 避難指示



- ・人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況です。
- ・避難中の住民は直ちに避難を完了してください。
- ・まだ避難していない住民は直ちに避難します。

■ 主な避難情報の広報手段



今すぐ登録を!

熊本市災害情報メール
(注意報・警報や避難情報をメールでお知らせ)

entry-kumamoto@fastalarm.jp に空メールを送信



いざという時に備えて家庭でもご準備を!

大災害が発生した場合、水道施設などが使用できなくなったり、道路の損壊などにより防災機関による救援活動がすぐにできない可能性もあります。災害発生後の数日間は自足できるよう準備をしておきましょう。

最初に持ち出す 非常持出品


家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに取り出せる場所にひとまとめに保管しましょう。

懐中電灯



できれば1人ひとつ
※予備の電池と電球も忘れずに

救急医療品



傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など
※常備薬は忘れずに

携帯ラジオ



軽くてAM・FM両方聞けるもの
※予備の電池は多めに

非常食・水

カンパン、缶詰、ペットボトルの水など
※火を通さなくて食べられるもの
※乳幼児がいる場合は粉ミルク

貴重品



現金、預貯金通帳、印鑑
健康保険証・住民票コピーなど


こんなものも便利

ヘルメット、防災ずきん、上着・下着、タオル、軍手、紙の食器、ライター(マッチ)、缶切、栓抜き、ろうそく、ナイフ、ビニール袋、ティッシュ、ビニールシート、生理用品、紙おむつ、哺乳瓶 など

復旧までを支える 非常備蓄品

少なくとも各家庭3日分を準備しておきましょう。

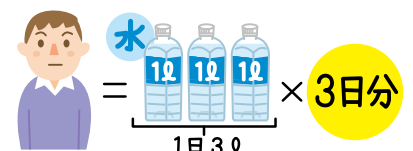
食品



缶詰、レトルト食品、ドライフーズ、栄養補助食品、調味料など
※非常食3日分を含む数日分準備を

水

飲料水…大人1人1日あたり3リットル
※少なくとも3日分準備を



燃料その他

卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベ、毛布、寝袋、洗面用具、ラップ、使い捨てカイロ、工具、マスク、トイレ用ペーパー、新聞紙、簡易トイレ、めがね(予備)、バイク・自転車、ドライシャンプー

(危機管理防災総室 ☎096-328-2490)